

1

説明的文章(1)

◆指導ページ P.2～5◆

【指導のポイント】

★指示語が指す内容をとらえられるようにする。

★前からあとへ続くつながりをとらえ、話題を読み取れるようにする。

演習問題の板書例

■主要内容

ごぼうやこんにやくなどの食品に含まれる食物繊維の、体の健康維持に役に立つはたらき

■意味段落ごとの要点

1 ごぼうに含まれる食物繊維のはたらき〔形式段落①～⑤〕

- ・腸管を通り腸内を清掃↓お通じをよくする。
- ・体に有益な腸内細菌を増殖させる。

← 腐敗菌や異常発酵菌の増殖を抑える。

= さまざまなビタミンを体内で合成。

- ・胆汁酸の分泌を多くする。↓脂肪の分解やコレステロールの過剰を抑える。

2 こんにやくのはたらき〔形式段落⑥〕

こんにやくの主成分であるマンナン
 {人間は消化吸収できない↓こんにやくは低カロリー食品の代表格。
 水を吸収する↓この性質を利用して、腸管の掃除にたいへん役に立つ。}

3 日本人と食物繊維〔形式段落⑦～⑨〕

日本人⇨一見無用な食べ物を食す。

〔例江戸時代の「奉書紙」

奉書紙⇨楮という植物の繊維。

← このころから食物繊維を意識的に取り入れていた。

← 便秘の防止や、腸内細菌のコントロール。

⇨理にかなった知恵

4 食物繊維が多い食べ物の共通点⇨歯ごたえ〔形式段落⑩・⑪〕

日本人⇨歯ごたえを一つの風味の要素とする。

← シャキシャキした歯ごたえ⇨日本人の好み

← したがって

繊維をそこなわず歯ごたえを残した調理法が多い。

2

説明的文章(2)

◆指導ページ P.6～9◆

【指導のポイント】

- ★指示語や接続語に注目し、文章の流れをつかめるようにする。
- ★段落構成をつかみ、要点を読み取れるようにする。

演習問題の板書例

■テーマ

自然界における「弱者の戦略」について

■意味段落ごとの要点

1 雑草を例にして「強さ」「弱さ」の判断の難しさの実例を示す。〔形式段落1～3〕

●雑草をなくす唯一の方法は「草取りをやめること」

←理由 競争に強い植物が雑草を駆逐するから。

●私たちも雑草は強いと思う。

←しかし

実際は不人気な場所ではかき殺すことのできないか弱い植物。

2 「強さ」とは？ 「弱者の戦略」とは？〔形式段落4～12〕

●自然界における「強さ」「弱さ」は単純なものではない。

●三つの「弱者の戦略」

・食う食われるの関係

← ※食う方＝食われる方の存在に依存している弱い存在。

・危険(捕食者の攻撃)から逃れる術＝一つ目の「弱者の戦略」

・他の生物との競争関係

「種間競争」＝自然界で最も激しい戦い。

← 敗退＝滅亡：生き残りをかけた厳しい戦い。

← 弱者がいかに生き残るか＝二番目の「弱者の戦略」

・同じ種類の中での覇権争い＝「種内競争」

← 強者＝エサ場を確保し、メスを獲得。

← そんな同胞の中で弱者がどう振る舞うか＝三番目の「弱者の戦略」

■筆者の主張〔形式段落13～15〕

●強さ≠他者を打ち負かすこと。

●生物にとって、最も重要なこと＝生き残ること。

← 結局

「生き残ったものが強い」

＝生き残ることこそ本当の「強さ」

【指導のポイント】

- ★場面の様子や情景を正確に読み取れるようにする。
- ★人物の気持ちを具体的につかみ、主題を読み取れるようにする。

演習問題の板書例

■読解の注目点

森を移動する間、森の背景の変化につれて変わるリョウとナオミの心情。
二人の心情の違い：リョウは、ナオミの言動をどのように評価しているか。

■展開

●リョウとナオミとほかの三人の仲間たちは、ガイドさんたちの先導で森の中を歩き始める。

●道がどんどん細くなり、うっそうとした森となる。

◇ナオミ⇨到達度でもらえる色替わりのTシャツの次の色に期待。

◇リョウ⇨今のことでいっぱい、先のことを気にする余裕はない。

●三十分後、ガイドさんたちが、樹上でオランウータンが眠るベッドについて説明する。

●ガイドさんたちは忍者のように突然姿を消す。

五人の研修生たち、口々に意見を言い合い、みんなはリョウを見る。

◇ナオミ⇨一人ひとりで別行動をしているいろいろな情報を持ち寄ることを提案。

◇リョウ⇨危険を警戒して、最低限二人以上で組み行動をすることを勧める。

◇ナオミ⇨リョウの案を「いい折衷案」だと賛成。

◇リョウ⇨他のメンバーは全員で行動するべきと考えていると推測。

●結局、A班はナオミとリョウの二人、B班はほかの三人と二手に分かれて行動することになった。

●五分後、リョウはナオミと二人で森の小径を歩いている。

◇リョウ⇨ナオミの判断の早さ、仕切りっぷりにびっくりさせられるばかり。

↓ナオミとの出会いに、新鮮な驚きを感じている。

■二人の性格・心情の特徴

◇リョウ⇨慣れない環境にとまどい、不安を感じ、単独行動は危険だと思っている。

◇ナオミ⇨明確な目標や意見を持ちつつ、リョウやほかのメンバーの意見も採り入れる余裕がある。

詩歌

◆指導ページ P.14～17◆

【指導のポイント】

- ★用語、形式などに注目させ、詩の種類をとらえさせる。表現技法をとらえることで、詩歌独特の表現を理解できるようにする。
- ★作者の気持ち、登場人物の気持ち、情景などから主題をとらえさせる。

例題の板書例

少年 ← およめさんの行列に会った
 = 十九歳
 ← 姉を思い出した
 ← 姉 二十五歳
 ← 姉 ならびのよい歯で笑う
 → うらの庭で菜の葉についた虫をとっている
 → 健康そうな様子
 ← 少年 姉とならんで畑にしゃがんだ
 ← 姉 といつまでも一緒にいたい
 ← 道で会ったおよめさんは十九歳なのに、姉はまだおよめに行かない
 ← 姉は どうしておよめにいかないんだろう？
 ← 紀州の山がよく見える
 ← 和歌山県
 ← よく晴れて、いい天気

演習問題の板書例

1 雑草 口語(現代の言葉)で音数にきまりがない
 ← 口語自由詩
 ← 1～4行目
 ← 雑草の生き方に共感している：「胸のすく思い」
 ← 5～7行目
 ← 雑草のたくましく、けなげな生き方に共感している
 ← 8～11行目
 ← たくましくのびている雑草に対しての気持ちが盛り上がる
 ← 12～15行目
 ← 希望を描いている
 ← 若者には、たくましくのびる雑草のように生きてほしい、という希望をたくしている

詩の種類

- 用語による分類
- ・ 文語詩：文語で書かれた詩。
 - ・ 口語詩：口語で書かれた詩。
- 形式による分類
- ・ 定型詩：音数にきまりがある詩。
 - ・ 自由詩：音数にきまりがない詩。
 - ・ 散文詩：散文で書かれた詩。

演習問題の板書例

2 ※短歌：五・七・五・七・七
 A 着ぶくれて 冬
 B いちよう 秋 四句切れ
 金色のちいさき鳥：いちようの葉が散る様子
 ← 作者の感動を表す
 ← いちようちるなり夕日の岡に：倒置法
 ← ②夕日の岡にいちようちるなり

作者

◇木下利玄
 一八八六年岡山県出身。佐佐木信綱の「竹柏会」の同人。
 ※代表作品に「銀」「紅玉」など。
 ◇与謝野晶子
 一八七八年大阪出身。「明星」に短歌を発表。与謝野鉄幹と結婚。
 ※代表作品に「みだれ髪」「舞姫」など。

3 ※俳句：五・七・五
 A 季語：夕立 夏 → あひる ↑ 体言止め
 ※時ならない雨に、水などものともしいはずのあひるさへ驚いている様子
 B 季語：雪とけて 春
 ※春の訪れを待ちかねていたように、あちらこちらの家から子どもたちが外へ飛び出してくるさま